

# 機能仕様書

## STP ポート状態監視 RTC

発行日 2017年3月30日

公立大学法人会津大学

株式会社東日本計算センター

有線/無線通信ネットワークシステム

改版履歴

Ver	改版日	内容
1.0	-	新規作成

## 目次

1.	はじめに.....	1
1.1.	対象読者.....	1
1.2.	適応範囲.....	1
1.3.	開発環境及び使用機器.....	1
1.4.	関連資料.....	2
2.	RTC仕様.....	3
2.1.	モジュール名.....	3
2.2.	機能概要.....	3
2.3.	主なエラー.....	3
2.4.	動作条件.....	3
2.5.	コンポーネント図.....	3
2.6.	ポート情報.....	4
2.7.	コンフィギュレーション情報.....	5
2.8.	サービスポート I/F 仕様.....	6
2.9.	フォルダ構成.....	6
3.	参考.....	7
3.1.	処理フロー.....	7
3.2.	出力データポートで使用する型の詳細.....	8

## 1. はじめに

### 1.1.対象読者

本書は RT ミドルウェア、RT コンポーネント（以下、RTC と略す）、ネットワークに関する基本的な知識を有する利用者を対象としている。RT ミドルウェア、RTC については以下に示した Web ページを参照

<http://www.openrtm.org/openrtm/ja/>

### 1.2.適応範囲

本書は Spanning Tree Protocol が有効化されている調査ロボット用有線ネットワークシステムで、使用する STP ポート状態の監視を行うモジュールについて記述した文章である。

### 1.3.開発環境及び使用機器

開発環境を以下に記載する。

言語・環境		バージョン	補足
OS	Linux	Ubuntu14.04	-
CPU	Core i7 4710MQ(Haswell Refresh)/2.5GHz/4 コ ア HT	-	-
開発言語	Python	2.7.10	-
コンパイラ	-	-	-
RT ミドルウェア	OpenRTM-aist-Python	1.1.2	-
依存ライブラリ	-	-	-

## 有線/無線通信ネットワークシステム

使用機器を以下に記載する。

No	使用機器	個数	補足
1	ノート PC	1	メッシュネットワークの基地局として使用。 OS : Ubuntu 14.04 LTS
2	Raspberry Pi2 Model B (RPi2)	5	メッシュネットワークを構築する端末として使用。 OS : Raspbian Wheezy
3	microSD カード (16GB Class10)	5	Raspbian OS をインストールし、RPi2 の microSD カード口に挿入。
4	USB Ethernet アダプタ	13	-
5	Ethernet ケーブル	10	-

### 1.4.関連資料

関連資料は以下を参照

No	資料名	備考
-	-	-

## 2. RTC仕様

### 2.1.モジュール名

STP ポート状態監視 RTC のモジュール名は、“STPPortStateObserver”とする。

### 2.2.機能概要

本モジュールは、調査用ロボットの STP ポート状態を監視し通知を行う。ビューア側で孤立したロボットを明示化させる為、コンポーネント動作周期に合わせて情報を送信する。

### 2.3.主なエラー

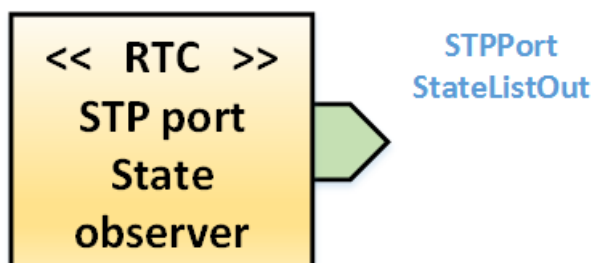
本モジュールでのエラーおよび、その際にコンソール画面上に表示するメッセージを以下の表に記載する。

No	状態	エラーメッセージ
1	サポートされないプラットフォームでの実行	ERROR: NOT supported platform:
2	コマンド実行失敗	ERROR: command execution failure
3	意図しないルートデータの取得	ERROR: unexpected route data
4	ルートデータ解析エラー	ERROR: parse failure
4	Aborting への状態変化検出	ERROR: detected an Aborting state

### 2.4.動作条件

本モジュールは、1秒周期で動作する。

### 2.5.コンポーネント図



## 有線/無線通信ネットワークシステム

### 2.6.ポート情報

#### A) データポート (InPort)

ポート名称	型	説明
-	-	-

#### B) データポート (OutPort)

ポート名称	型	説明
STPPortStateListOut	STPStateIF::TimedStateList	STP ポート状態 ※詳細は 3. 2 を参照

#### C) サービスポート (Provider)

ポート名称	インターフェース名	説明
-	-	-

#### D) サービスポート (Consumer)

ポート名称	インターフェース名	説明
-	-	-

2.7.コンフィギュレーション情報

コンフィギュレーション名	デフォルト値	説明
node_id	“node_id_xxx”	自ノード ID  半角英数字記号で設定する。 記号は”_”,“-”を使用する。
connection_conf	“no_data”	STP ネットワークの構成情報。  接続するノードの数に合わせて、以下の書式で設定する。 [node/if/connected if, ..., ...]  node:接続先のノード id if:自ノードのインターフェース名 connected if:接続先ノードのインターフェース名



## 有線/無線通信ネットワークシステム

### 2.8. サービスポート I/F 仕様

関数名	-			
引数	名称	型	I/O	説明
	-	-	-	-
戻り値	値			説明
	-			-
	-			-
説明	-			

### 2.9. フォルダ構成

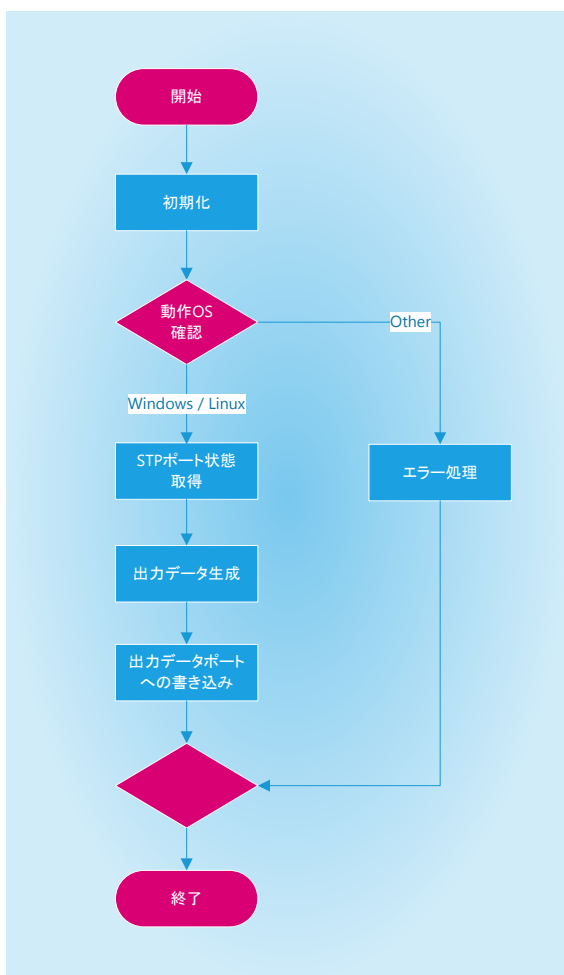
以下に本コンポーネントのフォルダ構成を記載する。

フォルダ名	ファイル名	説明
STPPortState Observer	STPPortStateObserver.py	コンポーネントメインモジュール
	stp_state_list.py	STP ポート状態取得モジュール
	STPPortIF_idl.py	新規 IDL 定義モジュール

### 3. 参考

#### 3.1. 処理フロー

STP ポート状態監視 RTC の処理フローを記載する。



### 3.2.出力データポートで使用する型の詳細

本 RTC で実装される出力データポートの型の詳細を記載する。

型名	STPPortStateIF:: State		
メンバ	データ型	メンバ名	説明
	String	Interface	インターフェース名
	String	Connected_Node	接続先ノード
	String	Connected_Port	接続先ノードのポート ID
	String	Port_State	STP ポート状態

型名	STPPortStateIF:: TimedStateList		
メンバ	データ型	メンバ名	説明
	RTC::Time	Tm	タイムスタンプ
	String	Uuid	UUID
	sequence<State>	StateList	STP ポート状態リスト

## 著作権

本文書の著作権は公立大学法人 会津大学に帰属します。

この文書のライセンスは以下のとおりです。

[クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本](http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/)

<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>

